

浜嶋です。

おはようございます。

ベンチャー隊の昨日のLINEに、吉田隊長がこんなことを書いていました。

「全員

議長からの問いかけに答えましょう！最近、反応が少ないですよ！

議長の気持ちを考えましょう！」

私は、これを読んで吉田団委員と話していたことを思い出しました。

「ある団委員がしんどいと言っているんです」と吉田さんに言うと

「それは体や仕事がしんどいということじゃないんです。

団メールで地区委員会の報告をしてもそれに対して誰も返事をしてくれないことが精神的にしんどいのです」

ということでした。

銀輪亭倶楽部でもそれは起きていました。

事務局担当が、イベントの参加や不参加の連絡、さらには理事会開催の日程調整を投げかけても返事がないこと、

特に重要な役職の人の返事がない。私の目の前で当人に厳しく注意をしたりしていました。

「私は、メールでの案内など苦にはなりません。連絡してくれた一人ずつにも確認のメールを送っています。

それよりも返事がないのが一番辛いのです。これでは、事務局を続けることはできません」と胸の内を語ってくれました。私は、従来よりも早く返事をすることにしました。

すると、なんとなく気持ちがよくなり、本人もストレスがたまらないなという感じになりました。

吉田隊長の言葉の中で、「議長の気持ちを考えましょう！」というのはスカウトの心に響いたでしょうか。

響くことを期待したいです。きっと響くでしょう。

どうすれば、スカウトにこのことを理解させることができるのか、よく考えたうまい問いかけだなと思いました。

コミュニケーションの基本は、いくつになっても重要です。

隊長が、このようにスカウトを育ててくれることを大変うれしく思いました。この引用は吉田隊長の許可をもらっています。

BVS隊でも、隊長が隊集会開催案内を出すとすぐに返事を返してくれる保護者がいます。私は、その保護者に感謝を伝えました。

そして、隊集会でお会いしてそのことを再度伝えました。

私たち指導者が思っていることを伝えること、お互いに気持ちを伝えることは素晴らしいことだと思います。

「〇〇の気持ちを考えましょう！」、私たちも一度〇〇さんの気持ちを考えてみましょう。

私の目標と実践

～保護者の理解が深まれば、2団が変わります。全員でスカウトを育てよう～